

北海道PCB廃棄物処理事業監視円卓会議（第35回）開催結果概要

1 日時

平成27年8月6日（木）14:30～16:30

2 場所

PCB処理情報センター（室蘭市御崎町1丁目9番地8）

3 出席者

監視円卓会議委員、登別市、伊達市、環境省、中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）事務局（北海道、室蘭市）

傍聴者：10名 報道：1社（室蘭民報社）

4 内容

- (1) 第34回監視円卓会議議事録について
- (2) 北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について
- (3) その他

5 議事概要

- (1) 第34回監視円卓会議議事録について

監視円卓会議として承認。

- (2) 北海道PCB廃棄物処理事業の進捗状況等について

- ① 北海道事業の進捗状況等について

JESCOから資料2-1～2-7に基づき説明。

- ・トランス類、コンデンサ類の処理は平成27年6月末現在で、それぞれ76.9%、78.7%。
- ・安定器等・汚染物の処理は平成27年6月末現在で、45.1%。
- ・第一系統排気に係る活性炭の性能調査について、調査結果を説明。
- ・前回の監視円卓会議以降のトラブル事象は1件。その概要と対策等について説明。併せて1月5日に発生したトラブルについて最終報告。また、平成26年度のヒヤリハット活動状況について報告（ヒヤリハット件数5件）。
- ・6月10日に実施した増設施設主体の総合防災訓練の実施結果を報告。
- ・6月に発覚したJESCO情報システムの不正通信に係る調査結果について報告（個人情報等の流出は確認されなかった）。

主な質疑等は以下のとおり。

(委員) 活性炭の性能調査について、活性炭に吸着することについては確認できたが、スクラバーオイルによる送気の実験ができなかったことから、PCB吸着量の逆転現象については確認できていない。

(JESCO) 活性炭の処理性能は確認できた。今後、さらに調査等を実施することについては、改めて検討したい。

(委員長) 実装置での確認など、JESCOで再検討していただきたい。

② 環境モニタリング測定結果等について

事務局から資料 2-8～2-10 に基づき説明。

- ・平成26年度の実施結果及び平成27年度のこれまでの調査結果では、環境基準値や排出管理目標値等を超える項目はなかった。
- ・今年度はこれまでに3回の立入検査を実施。トラブル発生時の検査において、原因究明、再発防止策等について指導。

質疑等は特になし。

(3) その他

PCB廃棄物処理基本計画に基づく取組の進捗状況と今後の課題等について、環境省から資料 3-1、3-2 に基づき説明。

- ・処理期限までに確実に処理するためには、期限内に掘り起こし調査の実施から J E S C O 等における処理まで、段階毎に対応を行うことが必要。
- ・環境省においては、早期処理の完了に向け必要な追加的方策について検討を行うため、「PCB廃棄物適正処理推進に関する検討委員会」の元に「早期処理推進ワーキンググループ」を設置。今後、速やかに検討を進める。

主な質疑等は以下のとおり。

- (委員) ワーキンググループでの検討では、地域で活動している人たちの声を積極的に取り入れていただきたい。
- (委員) 企業の合併や廃止などが、PCB使用機器が不明になる理由の一つ。ワーキンググループで検討していただきたい。
- (委員) 検討するだけでなく、結果をきちんと出す必要がある。身近なところから改めて掘り起こしすることも必要。
- (委員長) 掘り起こしには地域の方々（警察、消防など）にも協力をしてもらう工夫が必要。また、調査結果（どのようなところにあったかなど）の公開なども検討してほしい。道外から運ばれることになるものについてもきちんと調査していただきたい。
- (委員) PCB廃棄物の運搬を業者委託するとかかなりの経費を要する。廃棄物処理法では自己運搬が認められているので、PCBについても、可能であれば工夫することも必要ではないか。
- (J E S C O) PCBを受け入れる際は、廃棄物処理法に基づくほか、安全対策のため J E S C O において運搬容器など受入基準を作り、入構許可を受けた者のみが運搬できるようにしている。
- (委員) 昨年度、北九州の監視会議が交流として室蘭に来られた。室蘭においても他事業との交流ができるよう検討していただきたい。
- (室蘭市) 今年度の事業として、北海道の監視円卓会議による他事業調査として、北九州に行くことを検討しているところ。